

児童育成クラブ保護者アンケート（満足度調査）実施結果

【対象者】 熊本市公設公営の放課後児童育成クラブ（80 クラブ）の保護者

【実施時期】 令和 8 年 3 月 5 日～令和 8 年 3 月 16 日

【回答率】 約 22.3%（2,044/9,179）

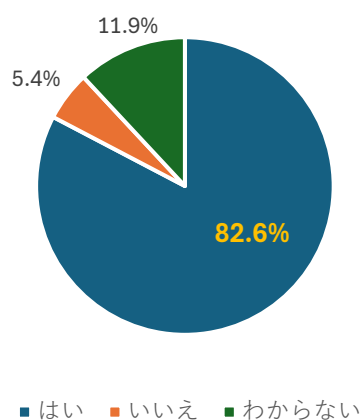
- ・締め切り時点での「すぐーる」登録者 9,179 人
- ・回答数 2,044 人

【アンケート方法】

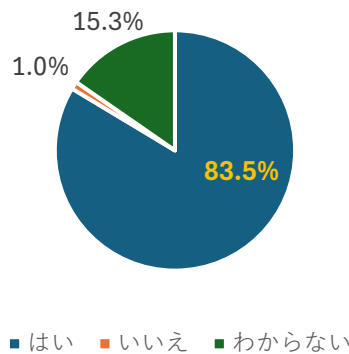
- ・保護者が登録している「すぐーる」へ依頼文を配布し、ロゴフォームより回答を収集。

【アンケート結果】

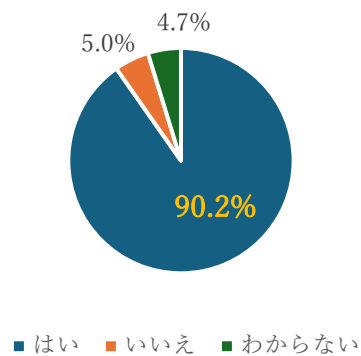
①お子さんは育成クラブで楽しく過ごしていると感じますか。



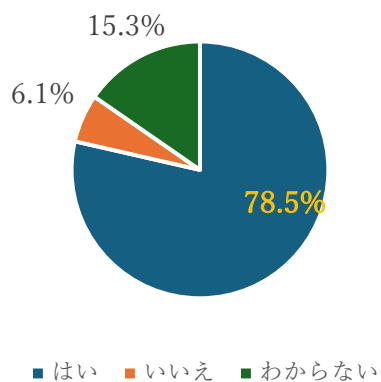
②育成クラブの室内は、お子さんが安全に過ごしやすいよう整理整頓されていると思いますか。



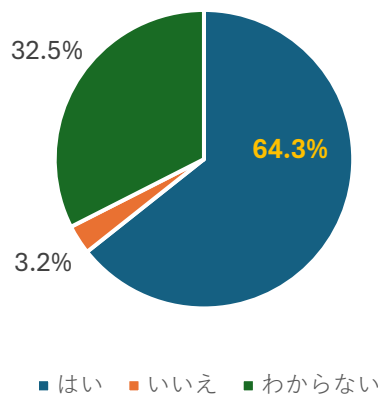
③育成クラブからの連絡（お便り・口頭・アプリ等）は分かりやすいと感じますか。



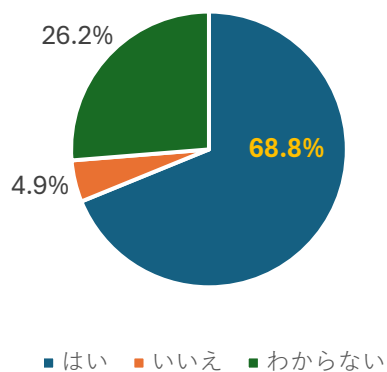
④支援員の対応は、お子さんや保護者に対して適正であると感じますか。



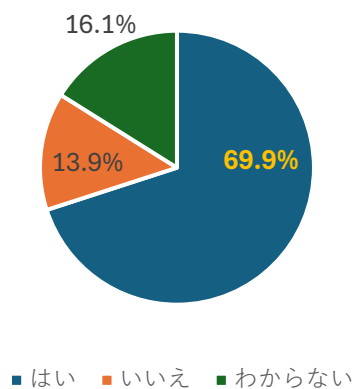
⑤育成クラブでは、危険な場面への対応や安全管理が十分に行われていると感じますか。



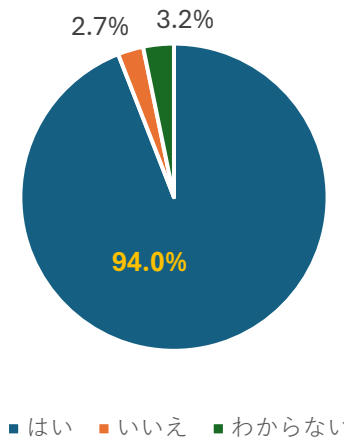
⑥お子さんが育成クラブで困った時、支援員は迅速・丁寧な対応や説明をしていると思いますか。



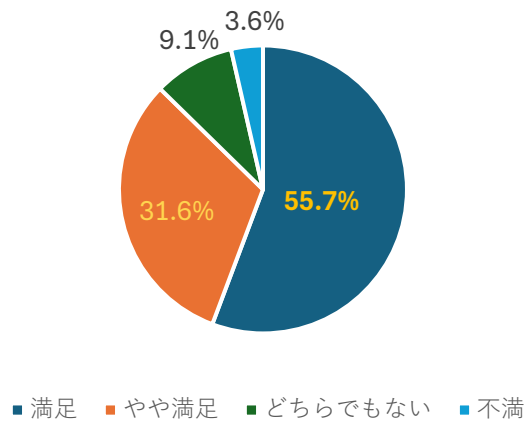
⑦要望や不満は育成クラブに伝えやすいと感じますか。



⑧育成クラブの存在は、保護者が安心して働くことにつながっていますか。



⑨現在利用している育成クラブを総合的に見て、どのように感じますか。



【自由記載】

① 好意的なご意見

1. 育成クラブがあることで安心して働ける
 - 「育成クラブがあるから仕事が続けられる」
 - 「共働き家庭にとって不可欠な存在」
2. 支援員が丁寧・温かく見守っている
 - 「子どもに寄り添ってくれる」
 - 「良いところをきちんと見ている」
3. 子どもが楽しく通っている
 - 「子どもが『育成が楽しい』と言っている」
 - 「毎日安心して預けられる」

② 改善を望むご意見

1. 支援員の言葉遣い・対応への不満
 - 「高圧的・感情的な指導がある」
 - 「怒鳴る、子どもの話を聞かない」
2. 人員・見守り体制への不安
 - 「目が行き届いていないと感じる」
 - 「トラブル時の把握・説明が不十分」
3. 活動内容・過ごし方への不満
 - 「自由度が少なく窮屈」
 - 「外遊びが少ない、DVDが多い」

③ その他

1. 連絡・出欠・予定管理のデジタル化
 - 「欠席・変更をアプリで完結したい」
 - 「紙とアプリの二重管理が負担」
2. 利用時間・料金体系の見直し
 - 「朝の開所時間を早めてほしい」
 - 「短時間・スポット利用に応じた料金に」
3. 利用条件・昼食対応など制度面の要望
 - 「夏場の昼食対応を検討してほしい」
 - 「高学年・育休中でも利用できる柔軟な制度を」

放課後児童育成クラブに関する今後の方針

本アンケートでは、育成クラブの必要性や意義が高く評価される一方で、現場対応の質や制度面について、改善を求める意見が多く寄せられました。これらを踏まえ、課として以下の方針で取り組みを進めます。

アンケート結果を踏まえた今後の方針について

1. 放課後児童支援員としての質を向上させ、安全・安心なクラブづくりを推進します

子どもに対する対応や言葉掛けについて、子ども一人ひとりに対し配慮した関わりを基本とする姿勢への理解を深め、児童及び保護者の皆様が安全・安心してご利用いただけるよう、研修やクラブ内でのミーティングを行い、放課後児童支援員としての質の向上に取り組んでいます。

2. 制度・運用面は「改善課題」として整理し、検討を進めます

①これまでの取組（実施・実装）

昨年度より、オンラインによる退会・休会・再利用手続きの導入や、おやつ代等の口座振替の実施など、保護者の皆様の利便性向上に取り組んできたところです。

②課題

次の段階として、利用条件や利用時間、長期休業中の対応など、制度・運用上の論点について、利用実態に即した見直しの必要性がある項目について、検討課題として整理をしていきます。

③進め方（実績・利用状況を踏まえた見直しの進行）

一部のクラブにおいて先行して昼食提供を実施してきたところですが、これまでの運用実績や利用状況、保護者の皆様から寄せられたご意見、現場支援員の声、他都市の取組状況などを踏まえ、保護者及び支援員双方の負担軽減につながるよう、優先順位を整理しながら運用の見直しについて検討していきます。

3. 利用者の声を、継続的な改善につなげます

すぐに対応できるものと、中長期的に検討が必要なものを整理し、現場での対応に加え、市として対応の方向性を示していきます。